

児童発達支援自己評価表

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 18日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスエンジェル栗東

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切であるか	○			適正人員配置であるが、療育内容の質の向上のため、専門職を配置しております。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		バリアフリー化やわかりやすい構造になっています。	バリアフリーではあるが、今後手すりや緊急時のAEDの設置も検討していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		のびのびと子供達が過ごせる環境に配慮しています。また、全員を見渡せるフロアになっています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		評価表の内容を職員で確認し、サービスの向上につなげています。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		SNSにて公開し、サービスの向上につなげています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現状外部評価は行っていませんが、今後施設見学等含めて検討していきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		年間研修計画を策定し、毎月職場内研修を実施しています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		計画書作成に当たり、職員会議で情報を共有し、話し合い、いろんな視点から分析するようにしています。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		月毎に、毎日の活動内容を作成し、季節や行事を盛り込んだ活動を行うようにしています。	
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○				

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		レセプト記録の裏面に、気づき等を記載し、支援に繋げるようにしています。	
関係機関や保護者との連携	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		関係機関との連携を図り、支援につなげるようにしています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		該当者なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		該当者なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		関係機関との連携を図り、支援につなげるようにしています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		コロナ感染防止の為、控えていたが、今後は外部との交流の機会を進めていきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		参加できる機会をつくっていきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時やライン等を活用し、保護者と子供の状況を共有するようにしています。	
保護者への説明	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		相談があれば対応していますが、こちらからも働きかけるよう努めます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			

責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		コロナ感染防止の為、控えていたが、今後は保護者の要望に応じて、検討していきます。
非常時等の対応	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		保護者からの連絡をいつでも受けられるようにラインを活用しており、保護者からの相談内容を迅速に職員間で共有し、対応するようにしています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		SNSにて活動の様子を保護者に発信しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		外部講師を招いた研修等を行う際には地域住民を招待しています。	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		職員へは研修時に、保護者へは契約時に周知するようにしています。	SNSで発信するなど保護者への周知を行っています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年2回の訓練を実施しています。	SNSにて、訓練の様子を発信していきます。
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	○				
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	保護者からの聞き取りによって対応しています。	必要に応じて、医師の指示書入手し、対応するようにします。	
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		会議を開催し、ヒヤリハット事例を共有しています。		
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		職員のストレスチェックを実施しています。		
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○				

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 3月 18日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスエンジェル栗東 保護者等数(児童数) 10 回収数 6 割合 60%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5			1		スペースは十分に確保されています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	5			1		適正人員配置であるが、療育内容の質の向上のため、専門職を配置しております。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5			1		バリアフリーではあるが、今後手すりや緊急時のAEDの設置も検討していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5			1		室内の換気を適宜行い、消毒・除菌をして清潔を保っています。
適切な支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	5			1		今後も児童様保護者様のニーズを聴き取り、分析に努めていきます。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5			1		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6					具体的に支援内容を理解しやすく説明します。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	6				・プログラムのバリエーションが豊かで、色々な体験ができています。	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2		1	3		コロナ感染防止の為、控えていたが、今後は外部との交流の機会を進めていきます。
保護者への 説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6					
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	6					今後保護者様に周知していただくよう努めます。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	5		1			相談があれば対応していますが、こちらからも働きかけるよう努めます。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6					
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5		1			定期的に面談を行っています。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	1	1	1		現状はコロナ感染防止の為控えていたが、保護者様の希望に応じて検討していきます。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	6				・ほぼ当日～翌日以内に、相談に対するアドバイスがもらえて、とても有難いです。	相談があった場合、迅速に保護者様に連絡を取り、対応しています。

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6				・LINEなどで子供の様子の写真など送ってきて下さるのがとても嬉しい。	今後も情報伝達に努めていきます。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6					今後SNSにて活動の様子や連絡等密にしています。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	6					守秘義務等配慮していきます。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	4			2		SNSで発信するなど保護者への周知を行っています。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4			2		年2回避難訓練を実施しています。その様子をSNSで発信していきます。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	6				・ニコニコしている様子が、定期的な画像送信でよく伝わってくる。	児童様が楽しく過ごしていただけるように、活動の幅を拡げていきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	6				・子ども同士仲が良く、優しくしてくれる。うちの子だけでなく、他の子たちも優しく通っているようで嬉しい。	今後も児童様、保護者様が安心してご来所いただけるよう質の向上に努めます。